

令和4年度 事業報告

I 事業概要

新型コロナウイルス感染症は令和2年1月に確認され、4年度末になってもその終息が見えない状況にあります。当町ではさくら祭りの開催中止に加え赤潮による漁業被害もあり、観光客等来町者が激減し地域経済に大きな痛手となりました。

当センターの事業運営においては、一般家庭からの発注件数の減少など大変厳しい年でしたが、就業機会の確保にあたってより一層きめ細かな対応を心掛けた結果、請負事業では、延日人員104.5%、契約金額103.9%と前年を上回りました。

また、労働者派遣事業は、就業会員の増員もあって延日人員107.9%、契約金額123.1%となり、請負・派遣事業合計261万円増、106.2%で終わることが出来ました。

事業計画の実施では、感染症を考慮して講習会、研修会等が開催出来ない中、公共施設の剪定・清掃ボランティア活動を「シルバーの日」に行えたことや安全委員と職員による就業現場の安全パトロールを通して安全意識の高揚に努め、賠償事故ゼロを達成したことは会員の皆様のご協力のお陰と深く感謝いたします。

日ごろより、シルバー人材センター事業の推進に深いご理解とご支援をいただいております新ひだか町をはじめ、賛助会員、関係機関、各事業所並びに一般家庭の皆様に深く感謝申し上げます。

〈事業実績概要〉

項目		4年度実績	3年度実績	前年比%
登録会員数		154	155	99.4
受注 件数	請負等	624	642	97.2
	派遣	13	10	—
	計	637	652	97.7
延日 人員	請負等	9,633	9,222	104.5
	派遣	953	883	107.9
	計	10,586	10,105	104.8
契約 金額	請負等	38,426,043	36,969,640	103.9
	派遣	6,141,041	4,989,230	123.1
	計	44,567,084	41,959,870	106.2

II 事業実施状況

(1) 普及啓発と就業機会の拡大

①ホームページでの情報公開に努め、報道機関へ記事掲載を依頼した結果、地方紙に事業内容が紹介され普及啓発に役立てることが出来ました。

②広報誌を年2回発行して、関係機関、賛助会員、企業等への配布、配置を通して、普及啓発と情報の発信に努めました

③普及啓発と会員募集を兼ねたチラシを新聞折込みにて配布し、普及啓発と就業機会の拡大を図りました。

④普及啓発促進月間中に公共施設において幟旗を掲示して清掃等のボランティア活動を実施し、普及啓発に努めました。

⑤就業現場の安全パトロールと共に発注者訪問を行い、就業機会の拡大を図りました。

(2) 会員の入会促進

①センター広報誌やパンフレットをハローワーク窓口や関係各所に配置して入会促進を図りました。

②会員募集に特化したチラシを作成し、新聞折込みによる配布を通して入会促進に努めました。

③事務所前に「会員募集中」幟旗を掲示し希望する方には随時説明会を行い、新規入会獲得に努めました。

④役職員、会員による「ロコミ運動」の継続を通して会員拡大を目指しました。

(3) 安全就業の推進と事故防止

①安全委員会において、全国シルバーの重篤事件事例を検証し、安全就業の推進に役立てました。

②委員と推進員による安全パトロールを定期的に行い、就業場所の安全確認、適正な器具使用やヘルメット装着等安全対策の徹底を呼びかけた結果、賠償事故の発生を防ぐことが出来ました。

③団体保険と熱中症見舞保険に加入し万一の事故に備えました。

(4) 知識・技能・技術とマナーの向上

コロナウイルス感染症予防対策のため、講習会等を開催することが出来ませんでしたので、就業時に熟練会員からの技術指導を要請しました。また、発注者宅の訪問を通してマナーについての聞き取りを行い、就業時に役立てました。

(5) 派遣事業の実施と拡大

派遣事業の実施は、事業所への積極的な訪問活動もあり、継続契約を締結することが出来ましたが、新規の契約には至りませんでした。しかしながら、就業会員の増員から、延日人員は前年比107.9%、契約金額123.1%で終えることが出来ました。

(6) 事務局体制の強化

全国シルバー人材センター事業協会及び北海道シルバー人材センター連合会主催によるオンラインでの各種講習会、研修会に担当職員が参加し知識の習得に努めました。また、職員会議において情報の交換と各種の連携を図り、良好な職場環境づくりに努めました。

(7) 関係機関との連携

北海道及び新ひだか町、ハローワークしずないや全シ協、道シ連等との連携を密にし、円滑な事業運営に努めました。また、コロナ禍もあり道南ブロックの各種会議は開催されませんでした。